

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	はおはお
------	------

公表日 令和7年 11月 21日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・定められた基準に沿ってスペースを確保している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・手厚く支援できる配置数である。 ・定められた基準に沿って人員配置を行っている。	・職員の配置数は十分であるが、より専門性の高い職員の配置を検討している。(理学療法士、言語聴覚士等)
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・動きの流れが分かるようにレイアウトを考えたり、見てすぐ分かるように図や絵で表示している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・常に整理整頓、衛生面について、職員一人一人が気を付けている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・クールダウンが必要な時や、周りが気になり集中できない時は、つい立で仕切って個別の空間を作っている。 ・状況に合わせて柔軟に空間が仕切れるようにパーテーション等が配置されている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・気付きは全て共有されている。 ・その時間に関わったスタッフ全員で毎回振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・改善点があればすぐ検討している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・気付きや意見は発言しやすい雰囲気があり、常に意見交換が行われている。 ・定期的にスタッフミーティングを行い、意見等を把握し、記録をし業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・各研修を受ける機会は確保されている。 ・毎月専門誌を購読している。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・日程を作成し、保護者に向けその日の療育のねらいを提示している。 ・作成された支援計画はスタッフ全員が目を通している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・出来上がった支援計画は、スタッフ全員で見直し、内容を把握している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・支援計画に沿った支援をし、いつでも支援計画を確認するようにしている。 ・支援計画をもとに、課題や活動内容を考えている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・適切に詳しく具体的に設定されている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・毎回日案を作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・固定化しないよう変化をつけ、改善しながら設定している。 ・年間プログラムを作成し、固定化しないようにしている。 ・同じような活動でも、子どもの興味や能力に合わせている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・必ず打合せ、シミュレーションを行ってから支援に臨んでいる。 ・日案に基づいて準備を行い、スタッフの役割等について打合せをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・小さいことも記録するよう心がけている。 ・毎回振り返りの時間を設け記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・毎回振り返りの時間を設け記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・管理者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・担当者会議を実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・サポートブックの作成を実施している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・児童館や図書館、公園に行く機会を設けている。 ・地域の児童館や公園に行くこともあります、居合わせた子供と交流することもある。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・親子療育の為、保護者と密に話ができる。共通理解のもと支援している。 ・保護者記入帳の記録を確認し、共通理解の時間を設けている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に保護者学習会があっている。年長児保護者向けに「先輩ママから話を聞く会」も実施されている。</li> <li>・定期的に勉強会を実施している。</li> </ul>	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時にわかりやすく丁寧に説明している。</li> </ul>	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にモニタリングを実施している。</li> </ul>	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳に相談の有無の欄があり、チェックがある時は詳しく話を聞き助言している。</li> <li>・必要に応じて相談日を設けている。</li> </ul>	
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子療育の為、保護者同士で話をする時間もあり、情報交換等が行われている。</li> <li>・先輩お母さんを招いて保護者会の実施をした。</li> <li>・年長になると同進学先の子どもを出来る限り同じクラスにし、保護者同士繋がれるようにしている。</li> </ul>	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに対応している。</li> </ul>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の定期的なお便りと、必要に応じてラインでの発信で周知している。</li> <li>・毎月お便りを発行している。</li> </ul>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要書類は鍵付き棚に保管している。</li> </ul>	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修で確認し、訓練も行っている。</li> <li>・訓練実施済み。</li> </ul>	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー食材について把握し、おやつ提供前に保護者におやつを見せ確認してもらっている。</li> <li>・保護者から伝えられたものを、スタッフの目に見えるところに貼っている。</li> </ul>	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修済み</li> </ul>	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも危険を感じたことがあれば共有し、再発防止できる方法を考えている。</li> <li>・ヒヤリハット記録表を準備し、記録後は回覧し周知徹底している。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・研修済み	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・現在対象となる人がいない。	